

精神疾患を持つ親に育てられた人のためのつどいを開催します。
これまで誰にも話せなかった自分の思いを子どもの立場の仲間と語り合しましょう。

第10回のつどいは支援者参加型です。会場内に支援者も同席し、グループワークの時は少し離れた所から傍聴します。動画撮影や音声録音はありません。当日、新聞・雑誌等の取材が入る可能性はありますが、本人の許可無く個人が特定されるような話の内容の公開や写真を公開することはありません。参加者の個人情報には十分配慮して対応致します。安心してご参加下さい。

※メディアの取材を受けることは、今なお孤立している子どもの立場の方に『仲間がいるよ』という事を知ってもらうために必要だと考えています。

日時：2020年2月9日(日) 13:30～16:30 (受付 13:10～)

場所：朝日新聞東京本社 本館 読者ホール
東京都中央区築地 5-3-2

アクセス：都営地下鉄大江戸線築地市場駅「A2」出口すぐ
都営地下鉄浅草線東銀座駅、東京メトロ日比谷線東銀座駅、築地の各駅から徒歩約10分
JR新橋駅より徒歩約15分

対象：精神疾患を持つ親に育てられた子どもの立場の方
支援者の方(若干名)

参加費：一人500円

定員：30人(予定) ※先着順

持ち物：筆記用具(グループワーク終了後にアンケート記入をお願いします。)

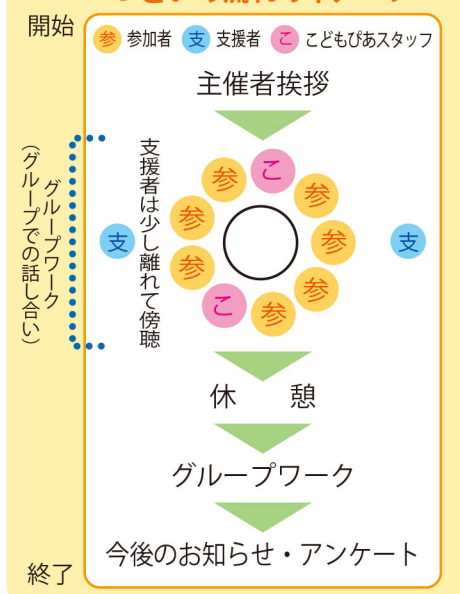
申込方法：必要事項をご記入の上、E-mail：kodomoff@gmail.comにてお申込みください。折り返し参加受付のメールをお送りします。

子どもの立場の方…お名前・ふりがな・郵便番号・住所・連絡先電話番号・年齢・名札の名前(ニックネームを希望される場合はお書きください。記載が無い場合は苗字になります)・親御さんの病名(診断されている場合)・要望、配慮して欲しい事、その他連絡事項

支援者の方…【お申込みメールの件名始めに**支援職**とご記入下さい】お名前・ふりがな・郵便番号・住所・連絡先電話番号・所属・職種・140文字程度で参加者へ向けての簡単な自己紹介や参加動機(注：職種と自己紹介や参加動機の記事のみ、つどいの一週間前くらいに参加者に一斉配信するメールに掲載させていただきます。)※参加する子どもの立場の人の中には“支援者”がどんなことをしている人かイメージがわからない人や過去の経験として支援職の人に嫌なイメージを持っている人もいます。支援職への理解を深めてもらうために自己紹介文を書いていただくことにしました。



つどいの流れのイメージ



★ 支援者参加の必要性 ★

支援者とは看護師やソーシャルワーカー、精神保健福祉士等の専門職のことです。今、精神疾患をもつ親に育てられた子どもの立場の方への支援が必要とされています。私たちが体験してきた事や抱いてきた気持ちを知ってもらい、今まさに家庭の中で困っている子ども達の為、そして大人になっても生きづらさを抱えている“子どもの立場”のために、何が出来るか考えてもらうキッカケにしたいと思います。

こどもぴあって? 精神疾患の親を持つ、成人した子どもたちの会です。いままで家族会に参加したことがない方、体験を語り合う場ってどういう所?と不安な方、こどもぴあに興味を持った方、子どもの立場であればどなたでもご参加いただけます。親が未診断でも構いません。同じ立場の人の体験談を聞いてみたい、ひとりで悩んできたことを誰かに話したい、そんな思いを持った方のためのつどいです。

主催：こどもぴあ 朝日新聞厚生文化事業団



こどもぴあ
精神疾患の親をもつ子どもの会
URL : <https://kodomoff.amebaownd.com/>
E-mail : kodomoff@gmail.com



Facebook : こどもぴあで検索
Twitter : こどもぴあで検索